

北海道地区本部第28回拡大執行委員会

JR連合北海道地方協議会 全道総決起集会



北海道地区本部菊地委員長



団結ガンバロー

3月4日、札幌市内において第28回拡大執行委員会を開催し、菊地委員長挨拶では「新型コロナウイルス感染症も減少傾向になり、国は次のステージに舵を切り始めている。JR産業は深刻なダメージを受け続け、コロナ禍前の需要に回復することが困難であると想定される。厳しい時こそ組織に結集し、安全に明るく働き続け、働きがいのある職場とJR貨物の経営自立を目指して、「人財こそが企業における最大の財産」との価値観に基づき、働く者の雇用の安定と「役割と責任」を果たす運動が求められている。今こそ組合員の力を総結集し、難局を克服していこう」と挨拶し、①安全の確立②2023春闘情勢③組織課題④政策実現と選挙の取り組み等についても述べられました。

続いて吉永書記長より、定期大会以降の経過報告及び議題について一括提案し、質疑では、2023春闘と組織課題、出向先の労働条件の改善、新幹線札幌延伸と貨物会社の経営自立についてなどの質問や意見に対し、吉永書記長の集約答弁を経て、2023春闘の当面する取り組みと具体的な行動を確認し、最後に菊地委員長の「団結がんばろう」で拡大執行委員会を終了しました。

また、拡大執行委員会開催前にJR連合北海道地協主催で「2023春闘勝利・第20回統一自治体選挙勝利」をスローガンに3.4全道総決起集会が開催されました。総決起集会は吉永書記長（書記次長）の開会あいさつで始まり、主催者を代表して昆議長（JR北労組）より、①2023春闘勝利、②安全の確立、③民主化闘争、④政策課題、⑤第20回統一自治体選挙について挨拶がありました。

来賓として、連合北海道より荒木副事務局長、菅原道議、藤原市議より力強い決意・挨拶をいただき、JR連合の鎗光労働政策局長からJR産業の現状と春闘を取り巻く情勢、JR連合の2023春季生活闘争方針について課題認識の共有と意思統一を図りました。

決意表明では浦島副委員長が安全の確立と組織課題、貨物会社の状況、春闘の取り組みについて報告し、集会宣言を菊地委員長（副議長）が提案し、全体の拍手で確認されました。